



第46号2016年 町田

俊風会
NEWS

日本維新の会
伊藤しゅんすけ
Shunsuke Ito

〒194-0021 町田市中町 2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935
〒206-0002 多摩市一ノ宮 4-1-1 N2ビル 2F
TEL 042-375-5500 FAX 042-375-3873

Homepage <http://www.i-shunsuke.com>
Mail officeshunsuke2012@gmail.com
Twitter http://twitter.com/shunsuke_ishin
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>



日銀2%物価目標を断念 — 日銀に依存した財政再建は間違っている —

11/1日銀の黒田総裁は18年2月の任期までに2%物価目標を達成するのは困難とし、事実上の敗北宣言をしました。2013年の異次元緩和から2年どころか3年以上経っても達成できず、インフレ伸び率は7カ月連続マイナスになっています。これまでの日銀の異次元緩和から、引くに引けない追加緩和と市場の1/3もの国債(株)買い上げ、更にマイナス金利導入などで、これから大きな副作用(リスク)を含んでいます。いま日銀と共にアベノミクスの成果も問われています。維新は、マネーゲームではなく、赤字体質の構造そのものを改革しなければ財政再建できないと主張してきました。140年続いてきた中央集権から思い切って地方分権(道州制)を実現し、大胆な統治機構改革を提案しています。



GDP成長率ゼロ、いま日本だけが成長していない。 — 増税で財政再建した国は世界どこにもない —

3年前の自公民の3党による安易な増税が、景気を悪くし、雇用は非正規が増え、消費が減ってGDP成長率もゼロ、先進国で日本は最低になり、更に国民の格差を広げています。また、国民には増税負担をしながら、公務員給与引き上げには、維新は反対をしておりますが、3年連続で自公民が賛成し、この5年間で国会議員と公務員の給与は総額約7000億円上がっています。

維新は、増税の前に、身を切るべきと言いつけてきました。大阪では、議員や公務員の身を切る改革で意識改革をし、無駄を無くし、多くの財源を捻出して、本当に必要な教育の分野などに予算配分し、私学高校まで教育無償化を実現し、11年連続赤字続きだった大阪の財政も、橋下徹が知事就任以来、以後8年間黒字で経営しています。大阪で実証された財政再建を今度は日本全体で実行するべきです。幼児教育から大学まで教育完全無償化する為には約5兆円必要と言われてはいますが、大阪の改革を日本全体で実行すれば約12.3兆円の財源を捻出できる試算もあります。自公は、国民に増税負担を求め、民進は、新たな赤字国債を発行し、借金で財源をつくるが、維新は、身を切る改革で財源をつくります。

身を切る改革

- 1、国会議員定数30%、国会議員歳費30%削減します。(大阪は、府議会定数20%、歳費30%削減)
- 2、国会議員年間1200万円の文書通信交通滞在費(領収書なし、報告なし、税金なし)の用途公開(維新の所属議員はHPで既に公開中)
- 3、企業団体献金の禁止(維新は既に実施中)
- 4、公務員の国・地方人件費5兆円、公務員数30%削減します。
- 5、出資法人数64%削減し、出資法人への天下りも60%削減します。
- 6、教育予算を3.7兆円増やします。
- 7、幼児教育から大学まで教育完全無償化を実現します。
- 8、維新所属の国会議員歳費20%を熊本震災へ寄附(実行中)

小池塾の講師に「日本維新の会」政策法律顧問「橋下徹」要請

これまで都民が知ることのなかった問題を情報公開してきた小池都知事の評価は、高い支持率通り、更に期待するものだが、議会改革では、都議の報酬年額2420万円、更に議会に出席する度に、交通費1万円(多摩地区1万2千円)支給される費用弁償などの身を切ることができるか。(維新は既に報酬3割カット

を提案し、費用弁償を受け取らず供託しています。)また、決断迫る豊洲移転問題や五輪費用問題、小池流の大胆な予算編成、いまだ党員である自民党との距離感などこれからの本番です。立ち上げた小池塾では講師に「日本維新の会」前代表の橋下徹へ要請がありました。大阪での改革実績を都政改革にも活かし、大阪と東京の更に強力な2つのエンジンで世界と都市間競争をしなければなりません。改革は大阪から東京、そして日本全体へ。

来年夏の都議会選挙では、町田市は定数が1つ増えて4議席になり、また多摩市の定数2議席においても維新は独自候補を擁立し「日本維新の会」の役割を果たしていきたいと思ひます。

その他の政策

- 年金＝人口が増え続ける時代に創られた年金(賦課方式)は少子高齢化時代には対応出来ず、1日も早く積立方式に。いま20代は、将来、納付額より受給額が約マイナス2400万円になる。
- 待機児童＝幼稚園の定数は207万人ですが、実際の在園数は140万人で、幼保一元化すればまだ67万人受け入れ出来るはず。また幼児教育無償化実現で待機児童解消できます。
- 原発＝安全でも安価でもなく最終処分地もない再稼働に反対。再生可能エネで新しい文明へ挑戦
- 安保法制＝自衛隊の歯止めなき海外派兵には反対。北朝鮮の脅威など現実的な対応を想定。
- 憲法改正＝与党だけでは3分の2に届かず、維新がキャスティングボードを握る形となりました。維新は、教育完全無償化や地域主権改革(道州制)、憲法裁判所設置を憲法改正で実現します。
- TPP＝賛成。これまで反対だった自民が政権をとったら賛成に変わり、逆に旧民主は、賛成から政権を失ったら反対に変わった。競争から逃げずに、国益になるマーケットを勝ち取り、自由貿易圏拡大へ。

43万人の健康と命を守る、町田市に救命救急(大学)病院を。

町田市は43万人もいて救命救急(大学)病院が1つありません。救急車の受け入れ先がなく出発できないケースも多いです。脳や心臓など市民病院で処置が出来ない場合は、北里病院や聖マリアンナ病院に搬送される初動の40分が命取りになります。八王子市には大学病院が2つ、相模原市には北里病院、14万人の多摩市には日医大病院が黒字で経営しています。なぜ、43万人の町田市に救命救急(大学)病院がないのか。これまで多くの業界団体は新規参入や競争を嫌い、組織を守るために政治家を支援し、当選した政治家は、業界団体を守ってきました。これが、政治のしがらみです。私は、業界団体ではなく、43万人の市民の方を向いて政治を行います。

町田

- ・鶴川駅南側駅前広場の実現と鶴川駅を橋上化で渋滞解消し、急行駅に。
- ・多摩センター駅－鶴川駅－東急こどもの国駅の南北を結ぶモルレル構想の実現。
- ・小田急線の小山田・相模原駅への乗り入れ早期実現へ
- ・北部丘陵を首都圏一魅力ある都市公園に
- ・相原の横浜線と町田街道のアンダーパス実現(渋滞解消)

- ・1979年8月5日 町田生まれ、町田育ち
- ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営 ・維新政治塾一期生卒

伊藤俊輔プロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点(あと635票)
 第47回衆議院議員選挙に立候補(50,836票)東京比例次点。
 再び挑戦を続ける!

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:
ご住所:

TEL:

FAX:

MAIL: